

PAM通信 コラム

2008年4月発行

<第13回> えが茶ん

先日、旅行のお土産に「えが茶ん」という名の缶ドリンクをもらいました。お笑い芸人の「江頭2:50」の写真がプリントされた緑茶と烏龍茶の缶ドリンクです。それをもらった私のリアクションは…… もちろん“大喜び”です！

私はエガちゃん（江頭2:50）が登場するTV番組を見るのが大好きです。上半身裸の黒スパッツ姿、人差し指を突き出すアクション、頭頂部が薄くなった髪型などを観ると条件反射のように笑がこみ上げてきます。そして、無茶なテンションで暴走するエガちゃんを観ていると自分のテンションも上がってくるのを感じます。しかし、エガちゃんは嫌いな芸人ランキングでダントツ1位なのだそうです。であっても私はエガちゃんがTV番組に登場する時にかかるBGMが流れてくるだけでワクワクしてきます。ですから私にとってエガちゃんは超一流のエンターティナーです。

オーストラリアで受けてしまったためか、海外公演が多くなり最近は見かけない「電撃ネットワーク」が以前は最も好きな芸人でした。最近気に入っているのは「アントキの猪木」です。どうも私が好きになるお笑い芸は“無意味にテンションが高い”という共通点があるようです。無意味にテンションが高い芸を観て面白いのは、意味のないことを全力で演じている姿が気持ち良いのかも知れません。それは彼らの芸に力が入りすぎて、つまずいてしまったときが最も面白く最も楽しく感じられることから言えると思います。理屈をつけてまとめてみましたが、理屈をつけて考えなくても私はエガちゃんの芸が大好きです。エガちゃんにはいつまでも下品で、気持悪く、無茶でテンションの高い芸を続けて欲しいと願います。

“がんばれエガちゃん！ がんばれアントキの猪木！ たまには日本でTV出演してくれ電撃ネットワーク！”